

## 大分市立植田中学校 学力向上プラン1 (8月)

	学力状況について	学習状況について
<b>児童生徒の課題</b>	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 第2学年は、県の学力定着状況調査で、「知識」が全教科目標値を上回った。「活用」では、数学が目標値を達成できなかった。数学的なものの見方・考え方を働かせる授業を展開する必要がある。しかし理科のみ達成できなかった。第3学年は、全国学力・学習状況調査で、全国、県の正答率を超えている。</p> <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 積極的に授業に参加したと答えた生徒が3年では目標の95%を超えているが、1年が92.9%、2年が92.3%と達成できていない。課題の明示や適切な言語活動の設定が必要である。</p>	<p>1 評価アンケートの結果から明らかになった課題 ○宿題やテスト勉強などの家庭学習はできているという生徒は1年93.6%、2年は83.8%、3年は79.7%と学年が上がるにつれて取り組みの状況が悪くなっている。</p> <p>○授業がしっかり理解できているという生徒は、1年92.9%、2年は82.2%、3年は85.6%であった。</p>
<b>指導の状況</b>	<p>1 組織的な授業改善の取組状況 ○授業規律の確立→学習3原則を達成することができた生徒95%以上 (85.4%) ○学習スタイルの確立→1時間の授業において、課題の明示と活動の場の設定により、積極的に授業に参加できたと答えた生徒95%以上 (94.6% 昨年度より4.3ポイントup)</p> <p>2 その他の学力向上に向けた指導の実施状況 ○放課後補充学習の定着と内容の充実→補充学習が基礎学力向上に役立っていると答えた生徒85%以上 (89.0%)</p>	

<b>学力に関する達成指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストにおいて、正答率30%未満の生徒の割合を8%未満</li> <li>・1時間の授業において、課題の明示と活動の場の設定により、積極的に授業に参加できたと答えた生徒95%以上</li> <li>・補充学習を定期的に行い、内容を工夫することにより、基礎基本確認テストの正答率75%以上の生徒80%以上</li> <li>・家庭学習の手引きの作成と子どもへの周知及び週末課題、補充学習プリントの取組により家庭学習が定着してきたと答えた保護者87%以上</li> </ul>
-------------------	--

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
<b>今後の具体的な取組</b>	<p>(授業改善テーマ) 主体的に学習に取り組む生徒の育成 (授業改善の重点) 1 生徒の意欲を喚起させる学習課題の工夫 2 言語活動の充実と学びあいの工夫を取り入れた授業展開</p>	<p>(達成指標) ・学校の様子がよく分かり、学校と協働して子育てができたと答えた保護者85%以上</p>
	<p>(取組内容) ・単元で付きたい力を明確にし、適切な評価基準の設定や展開を行う。 ・生徒に見通しと意欲をもたせ、問題解決への必然性がある学習課題の設定を行う。 ・追究した課題の結論をまとめたり、生徒が自己の学びや変容を実感できる振り返りを行ったりする。 ・ICT機器等を活用した学習課題の提示方法の工夫</p>	<p>(家庭・地域の取組内容) ・定期的な学年、学級通信の発行、学校HPの充実 ・学級懇談会の開催方法の工夫 ・月毎の学習計画表を配布</p>
	<p>(取組指標) ・毎時の学習課題と提示方法、板書構造を記録し、定期的に教科部会で検証を行う。 ・授業の振り返りシートを記録させ、単元毎に点検し、授業改善に反映させる。</p>	<p>(家庭・地域の取組指標) ・学級懇談会等に参加した保護者70%以上</p>
	<p>【その他の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との合同研修会、合同授業研究会の実施</li> <li>・読書活動の充実 ・天声人語を読んで要約し、タイトルをつける</li> <li>・学力支援が必要な生徒対象の補充学習 (英、数、国の個別学習)</li> <li>・全体を対象とした補充学習を週に2回実施 (週末課題とリンクさせ、教え合い学習と確認テスト実施)</li> </ul>	